

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0601
施設名	きたしば保育園
施設所在地	西東京市芝久保町2-14-14
法人名	社会福祉法人 聡香会

1.活動のテーマ

<テーマ>

感触

<テーマの設定理由>

- 様々な異なる素材に親しみ、感触を確かめたり物質が変化していく様子を探求するため。

2.活動スケジュール

令和7年9月から令和8年1月（5回実施）

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 水、氷、絵の具、小麦粉、砂などの異なる様々な素材、それらを入れる容器、床に敷くマットの用意、また園内外の砂場に出る機会を用意する。

4.探求活動の実践

<活動の内容>

- 氷の感触を味わい、触っていく中で溶けて水になる変化や、小麦粉に液体を混ぜることで感触の変化などを探求する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

小麦粉粘土やはるさめ、落ち葉、砂などさまざまな素材に触れながら、子どもたちは興味を持って手を伸ばし、握ったりつまんだりして感触を確かめる姿が見られた。はじめは慎重に触れていた子どもも、保育者が「やわらかいね」「つめたいね」などと声をかけながら一緒に触れることで、安心して素材に触れる様子が見られた。また、友だちが楽しそうに触れている様子を見て近づいたり、同じ素材に手を伸ばしたりする姿も見られ、子ども同士で興味を共有する様子もあった。保育者が子どもの表情や仕草に寄り添いながら関わることで、さまざまな感触を楽しむ姿が見られた。

*子どもの活動の様子は別紙参照

5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

さまざまな素材に触れる活動を通して、子どもたちはそれぞれのペースで感触を確かめながら興味を広げていく姿が見られました。最初は戸惑う様子の子どものも、保育者が言葉を添えながら一緒に触れることで安心し、次第に自分から手を伸ばして触れようとする姿が見られました。また、友だちの様子に興味を示して近づいたり、同じ素材に触れたりする姿から、周囲の環境や友だちの存在が活動への意欲につながっていると感じたので、今後も子どもたちが安心してさまざまな感触を経験できるよう、環境を整えながら一人ひとりの興味や反応に寄り添った関わりを大切にしていきたいと思えます。

すくわくプログラム 9月 感触あそび(フィンガーペインティング)



これなんだろう・・・?



楽しいよ!どうぞ!



なんかついたぞ...!!



トントン♪

なえ組は、すくわくプログラムの活動として感触あそびをテーマに進めていきます。9月は絵の具を使ってフィンガーペインティングをしました♪

活動の導入として、先日の秋祭りで使用したものと同一ヨーヨーを用意しました。

おもちゃの一つとして用意すると、子ども達は興味津々に次々と手に取る様子が見られています。



筆を使って
やってみたい!



びよんびよん~ん!



ヨーヨー型の色画用紙は、自分たちで色を決めました!4色の中から「どの色にしますか?」と子どもたち一人一人に尋ねると、興味のある色紙を「これ!」と引っ張って選んでいます。保育者が指でトントンと模様付けをする手の動きを見せると、子ども達も真似をして紙に触れていました。中には指でトントンしてみるも「ちょっと苦手だな・・・」と筆を使う子や、ダイナミックに両手を使ってペイントを楽しむ子も見られました。引き続き子ども達に無理のないよう、興味の持てる範囲で感触あそびを楽しんでいけたらと思います!

すくわくプログラム 10月 感触遊び（秋の自然に触れてみよう♪）



パラパラ～！
落ち葉の雨だよ♪

あれ？
手にくっついちゃった！



ここにも
葉っぱがあるね！

大きい葉っぱ
見つけたよ！



10月のすくわくプログラムでは、秋の自然に親しみながら“感触遊び”を楽しみました。公園へお散歩に行くと落ち葉やどんぐりなど、秋ならではの自然がいっぱい！手で触れてみたり、踏んで音を感じたりしながら秋の自然を体いっぱいを感じることができました。



これ何だろう・・・？

帽子ついてる～！



歩くとカサカサ
聞こえるよ！



フカフカ～！

どんぐりいっぱい♪



子どもたちは、落ち葉を拾い集めたり、どんぐりを見つけたりしながら、思い思いに秋の自然に触れています。散歩先では、様々な形の葉やどんぐり、枝を手に取りじっと観察したり、指でつまんで感触を確かめる姿が見られました。また、カサカサと音がすると不思議そうな表情を見せる子、帽子のついたどんぐりを小さな手で大事そうに握りしめ、にっこりと嬉しそうな笑顔を浮かべる子がいました。

今後も感触遊びを通して、子どもたちの「触れてみたい」「感じてみたい」という気持ちを大切にしていきたいと思います。

すくわくプログラム 11月 「さつまいもを洗う」

なえ組はすくわくプログラムの活動として「感触」をテーマに取り組んでいます。11月は、「さつまいもを洗う」という活動に取り組んでみました。
10月の芋ほりで収穫したさつまいもを使い、水の中でさつまいもを手でこすったりブラシを使って洗い、土汚れを落としています。両手で扱うことが難しい子には、保育者がさつまいもを支える援助をして見守りました。



水の色が変わったよ!!

どうやって洗おうかな…



こっちにしようかな…

両手で持つと
やりやすいかも!



なんだかザラザラ
しているな～

コロコロ転がす
ことも楽しいな♪



「おお!」と水の中に浮いた土が気になる様子…!

きれいに土汚れを落とすことが目的ではなく、自分で満足するまで洗ってみた、触れてみたという経験を大事にしています😊



保育者に支えてもらいながら
ブラシでゴシゴシ!!



洗い終わったら、最後はタオルで拭き上げます ✨

さつまいもは、カゴの中から自分で洗うものを選んでいきます。はじめは土のついたザラザラした感覚を確かめるように握っている子もいれば、すぐに洗いたい!と水の中に入れる子もいました。保育者が手の平や指で擦る提示をすると、真似するように手の平や指で撫でてみたり、水の中でコロコロ転がすことに興味があったりと姿は様々です。洗っているうちに透明だった水は土で濁り、水の変化に気づく子も中にはいました。「あっ!」と指差しをしたり、手を浸してみたりとする子どもたちの姿に、小さな変化にも気づいていることを実感しました。

こうした「さつまいもを洗う」という一つの活動の中にも、子どもたちはたくさん学びを見つけることができます。自分の手で触れ、試し、変化に気づく経験は、子どもの心と身体の成長に繋がると考えます。これからも子どもたちの主体的な育ちを育む活動や環境を大切にしていきたいと思えます!

すくわくプログラム 12月 『小麦粉粘土あそび』

なえ組は、すくわくプログラムの活動として感触あそびをテーマに進めています。今回は小麦粉粘土の活動をしました♪



何作ってるのかな…?

はじめに小麦粉の状態から少しずつ水を足して捏ねていく様子子どもたちに見てもらいました。形になってからオリーブ油を少量混ぜ、柔らかさを確かめながら作っています。



触ろうかな…
どうしようかな…



「もっかい(ちょうだい)!!」
(いつもコレクションしています☆)



ちょっと慣れてきたかも…!

「っどお~!!」
(どうぞ!)



のび~~~~



やわらかい~♪



触るの緊張するな~..
“ちょんちょん”



「おっ!!」
(色がついたことを発見!)



小麦粉粘土は初めての活動でしたが、日々の活動やこれまでのすくわくプログラムを通して様々な感触を味わってきたこともあり、興味津々に作る過程を見たり触れたりする姿が見られました。見慣れない粘土に少し緊張している子もいましたが、お友だちが楽しんでいる姿を見ることで安心感を持ち、さらに食紅で色を付けたことで興味が増すなど、少しの工夫で興味や関心が広がったように感じられました。この活動を踏まえて、紙粘土で手形と足形をとり、サンタさんと雪だるまのオーナメント制作も行いました。白い粘土に自分の手形や足形が付いた変化に気づき、しばらく粘土に興味深そうに見ている子や、色付けした作品に自分の手を合わせてみる子など、活動の中で、形や見た目の変化に気付いた様子も見られました。今後も活動を通してさまざまな感触を経験し、子どもたちの笑顔がたくさん見られるような活動を大切にしていきたいと思います。



すくわくプログラム 1月 感触遊び(はるさめ)



つるつるしてる、!



ながいよ!



これ、なに〜?



“じゃ〜!”



くっついた!



たくさんはいった!

しゃかしゃか!



すこしずつ
いれてみよう!



つめたい!



まぜまぜ〜!



ひっばってみたよ!



1月は、はるさめを使った感触遊びを行いました。初めは「なんだろう?」と不思議そうに見ていたり、お友だちが触っている様子を観察している子もいました。触れていくにつれて次第に興味を持ち、両手いっぱいにはるさめを持ち上げる姿や、カップに入れたはるさめを勢いよくお皿へ移す姿も見られました。“つるつる”や“ぷにぷに”とした感触や、冷たさに気づきながら五感を使いじっくりと遊びを楽しんでいました。